



Vol. 181

こんにちは としょかんです

発行 延岡市立図書館 〒882-0812 延岡市本小路39-1
TEL 0982-32-3058 FAX 0982-22-0644

2026年



ふくろう通りの企画展

文学賞受賞・候補作品展

【展示期間】2/7（土）～ 3/5（木）

1月14日（水）に第174回芥川賞・直木賞が発表されました。芥川賞には鳥山まことさんの『時の家』、畠山丑雄さんの『叫び』、直木賞には嶋津輝さんの『カフェの帰り道』が選ばれました。今年も過去の受賞作を含め、「芥川賞・直木賞」の展示を行います。どうぞお楽しみください！

また、全国の書店員がすすめる「本屋大賞」も一緒に展示しますのであわせてご覧ください。

【展示の本から】



『時の家』 第174回芥川賞受賞作品

鳥山 まこと//著（講談社）

青年は描く。その家の床を、柱を、天井を、タイルを、壁を、そこに刻まれた記憶を。目を凝らせば無数の細部が浮かび、手をかざせば塗り重ねられた厚みが胸を突く。ある家の記憶を紡いだ小説。『群像』掲載を単行本化。

『カフェの帰り道』 第174回直木賞受賞作品

嶋津 輝//著（東京創元社）

流行りに乗り切れない、長閑な「カフェ西行」で女給たちは朗らかに働いた。時代を映す鏡であった仕事「女給」を通し、大正から昭和を生きた市井の人生を描き出す。『紙魚の手帖』掲載に書き下ろしを加え単行本化。



九州医療科学大学附属図書館との連携展示

描かれた認知症

【展示期間】2/7（土）～ 3/5（木）

毎年行っている九州医療科学大学附属図書館との連携展示を今年も開催します。今年は「描かれた認知症」というテーマでパネルや関連する本とおして認知症について考える展示となっています。どうぞご覧ください。

【展示の本から】



『名探偵のままでいて』

小西 マサテル//著（宝島社）

楓の祖父は、レビー小体型認知症で介護を受けながら暮らしていた。しかし楓が身の回りて生じた謎を話して聞かせると、生き生きと知性を取り戻す。そんな祖父に相談を持ち込む楓だが、やがて自らの人生に関わる重大な事件が…。

『わすれないでね ずっとだいすき』

ジーン ウィリス//文 ラケル カタリナ//絵

前田 まゆみ//訳 寛 裕介//監修



「わたしったら、どうして自分の孫がわからなくなったりするのかしら」「泣かないで、おばあちゃん。ぼくはいつもここにいるから」 認知症の家族の実話にもとづく、人間にとっていちばん大切なことを教えてくれる絵本。



延岡十日えびす祭～えびす様と縁起物について～



寒い冬の延岡に福を運んでくる「延岡十日えびす祭」。毎年2月10日と11日に今山恵比須神社で開かれるこのお祭りには、商売繁盛や豊漁、家内安全を願う多くの参拝者が市内外から訪れます。皆さんは、なぜこのお祭りが「商売繁盛」にご利益があるのか、笹や熊手にはどんな意味が込められているのか、ご存知ですか？今回は、知るともっと祭りが楽しくなる、えびす様と縁起物にまつわる豆知識をご紹介します。

まず、祭りの主役である「えびす様」は、七福神の一柱で、右手に釣竿、左手に鯛を持つお姿でおなじみです。このお姿から、もともとは漁業の神様として信仰されていました。時代とともに、魚を市場で売り買えるようになったことから、「商い」の神様としても広く信仰されるようになり、福をもたらしてくれる存在となったのです。

次に、商売繁盛の縁起物として「福笹」。なぜ笹なのでしょう。竹や笹は、冬でも青々として生命力にあふれ、まっすぐに伸びる姿から縁起が良いとされています。また、「節目正しく真っ直ぐに伸びる」「弾力があって折れにくく、雪にも強い」といった特徴が、浮き沈みに耐えながら堅実に発展する商売のあり方になぞらえられているのです。福笹と同じく人気なのが「熊手」です。熊手は「福や金運をかき集める」という意味が込められており、商売をされている方に人気があります。他にも、米俵をかたどった「福俵」は「五穀豊穡。食べるのに困らない安定した収入」という願いが込められているそうです。今年の十日えびす祭では、ご自身の願いにぴったりの縁起物を探してみたいかがでしょうか。

とよとみ ひでなが 豊臣秀長

2026年大河ドラマ「豊臣兄弟」



1月から2026年大河ドラマ「豊臣兄弟」が始まりましたね。戦国時代が舞台となるお話は3年ぶりです。今回の主人公は、百姓から天下人へ飛躍し、天下一統を成し遂げた豊臣秀吉！・・・ではなくその弟の豊臣秀長です。

秀長と秀吉は3歳違いの異父兄弟(諸説あり)になります。秀長は文武両道かつ非常に頭の切れる優秀な人物で、秀吉が天下人に上り詰めていくにあたり、欠かせない存在であったと言われています。天下一の「補佐役」として秀吉を支え続けるとともに、時には秀吉の代行業を務め、有力諸大名との折衝や軍事活動を行うなど、豊臣政権の柱石のような役割も果たしました。秀長は、あまり前に出るような性格ではないものの、周囲へのフォローなど心配りを欠かさない人物で、兄・秀吉とはまた違う方法で周囲との摩擦を遠ざけていたとも言われています。

ただ、秀長に関しての資料は秀吉に比べ極端に少なく、本能寺の変前までの彼の活動に関してはわからないことが多いそうです。そんな秀長を主人公においた「豊臣兄弟」では、どのように物語が進んでいくのか、楽しみに見ていきたいですね。秀長や豊臣家に関する本は、現在続々入荷中なのでこの機会に是非読んでみてください。



参考資料:『羽柴秀長 秀吉の天下を支えた弟』(KADOKAWA) ほか

【豊臣家関連のおすすめ本】

『一冊でつかむ 秀吉と秀長 ビジュアル版』

佐京 由悠//監修 (河出書房新社)



太閤検地や刀狩、そして数々の戦いに勝利をおさめ、ついには天下を統一した豊臣秀吉と、その秀吉を支えた弟・豊臣秀長にスポットをあてて豊富な図版とともに解説する。ふたりの生涯がわかる豊臣兄弟人生双六も掲載。

『豊臣家の包丁人』

木下 昌輝//著 (文藝春秋)



屑として捨てられていた雉の内臓を使った汁、戦の前に即席のかまどで焼いた下魚の蒲鉾、秀吉と秀長の故郷の味…。豊臣家の天下統一の陰には、凄腕の料理人がいた! 戦国時代の料理に光をあてた天下取り物語。



司書おすすめの本



『みずいらず』 染井 為人//著 (祥伝社)



長男に冷たい無神経夫、四六時中家にいる定年退職後の夫、なんにもしない更年期の妻、夫の終活に付き合わされる妻…。「ああ、やっぱ無理」と思う前に読みたい、令和の夫婦ドラマ全9編を収録。

『図書館に来ませんか? 脱サラ司書と通信制

高校生徒との交流日誌』 田中 賢作//著 (同時代社)



一冊の本との出会いが人生を変えることがある。図書館の魅力を伝えたい。長年務めた会社を退職して、思いがけず通信制高校の図書館司書となった著者と、さまざまな事情を抱え、年代も幅広い生徒たちとの不思議な交流記。

『普天を我が手に 第1・2・3部』

奥田 英朗//著 (講談社)



戦争、革命、陰謀、青春、差別、音楽。大正15年12月、たった7日間しかなかった昭和元年に生まれた4人は、互いの運命を交差させながら、新たな時代を切り拓き…。第3部で堂々の完結。

『いのちをまもる図鑑』

滝乃 みわこ//文 五月女 ケイ子//イラスト

(ダイヤモンド社)



ハチに襲われた! クマに遭遇した! 目の前で人がおぼれている! アメがのどにつまった! 不審者がついてくる! 日常で遭遇する可能性のある76の危険と、その対処法を、楽しいイラストとともに紹介する。

新刊案内(一般書・YA向け図書)

〈一般書〉



『八州の風手控え帳』 あさの あつこ//著 (文藝春秋)

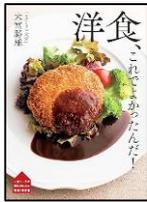
「八州廻り」と呼ばれる関東取締出役の任に就く一柳直四郎。争いごとを嫌い、甘い饅頭を愛する若き役人の一番の楽しみは、村々を歩き、日記をつけること。だが、林で首吊り死体が見つかり…。『オール讀物』連載を単行本化。



『イタリアの笑み さそわれる愛おいしい暮らし365日』

豊かな土地の恵みと人情味あふれる人たちと』 中山 久美子//著 (自由国民社)

塩気のないトスカーナパン、洗濯物は紐で干す、二重駐車は当たり前、街角で突然ウェディングフォト…。四半世紀前にフィレンツェに降り立った著者が、25年のイタリア生活で経験したこと、感じたこと、興味のあることを綴る。



『洋食、これでよかったんだ!』 大宮 勝雄//著 (世界文化社)

洋食のプロが、基本のソースから揚げ物、サラダ、缶詰を使ったレシピまで、手抜きでもおいしくできる秘伝のレシピを紹介。パティシエの江口和明シェフとコラボした「電子レンジで作る簡単ショートケーキ」のレシピも掲載する。



『空き家まるごとDIY! 中古住宅購入&自カリフォーム入門』 阪口 克//著 (草思社)

数々の一戸建て改修・セルフビルドに携わってきた著者が、そのエッセンスを公開。DIY向きの中古住宅の探し方・買い方から、工具の使い方、壁・床・屋根・水回りの自力改修術までを、イラストや写真を交え解説する。



『無敵化する若者たち』 金間 大介//著 (東洋経済新報社)

安定志向が強く、仕事に対する熱意や欲求がない。上の世代がためらうような権利主張を平気でする。自己評価が高い。アウトではないけど微妙に失礼…。現代の若者たちの行動と心理を、「無敵」をキーワードに可視化する。



『本の話はどこまでも 青山美智子さんが答える33の質問』

青山 美智子//語り手 根津 香菜子//聞き手 (朝日新聞出版)

デビューのきっかけ、小説執筆のモットー、装丁へのこだわり、本屋大賞への思い、図書館の思い出、本から得たもの…。作家・青山美智子が33の質問に答えながら、熱すぎる本への思いを語り尽くす。

〈YA(ヤングアダルト)〉



『夢中が未来をつくる』 山中 伸弥//著 (サンマーク出版)

好奇心は世界を変える-。iPS細胞をつくることに成功し、ノーベル賞を受賞した山中伸弥が、これまでの歩みとともに、直面した挫折や苦悩、それらを乗り越えるなかで学んだことを綴る。



『しらんけどな』 村上 しいこ//著 (さ・え・ら書房)

中津がボケて、港太が鋭くツッコむ、マンザイコンビ「しらんけどな」。名づけ親・小松崎絢香のダメ出しは今日もキツイ。近ごろコンビは空まわりで、解散の危機か!? 中学2年の3人がたどりついたそれぞれの答えとは-。

新刊案内(児童書)

< 児童書 >



『ずかん縄文土器 見ながら学習調べてなっとく』 井口 直司//著 (技術評論社)
縄文土器の形や文様、作り方には、縄文人がどんな暮らしをしていたかのヒントがたくさん残っている。縄文土器の形のちがひ、地域ごとの特色、技術の発展を、写真と図解でいねいに紹介する。



『生命の起源大研究』 山岸 明彦//監修 (PHP研究所)
最初の生命が誕生したのはいつごろと考えられている? 19世紀中ごろまで信じられていた「自然発生説」って何? 宇宙に生命はある/いない? 生命の起源について、たくさんの写真や図表とともにわかりやすく解説する。



『神の蝶、舞う果て』 上橋 菜穂子//著 (講談社)
聖域<闇の大井戸>で、魔物から聖なる蝶を守る役目を負って暮らしている降魔士の少年・ジェード。ある日、相棒の少女・ル克蘭が、<予兆の鬼火>に触れる事件が起き…。『子どもプラス』連載を加筆修正。



『すききらい』 中川 ひろたか//作 かわしま ななえ//絵 (アリス館)
ぼくがきらいなのは、なす、カラス、あたまを洗うこと。でもママは、すききらいしちゃだめって言う。でも、きらいなものをすきになれるかな…? たくさんの「好き」と「嫌い」の中で暮らしていることについて考えてみる絵本。



『ゆらゆらなじかん』 クレア ヘレン ウェルシュ//文 フィオナ ランバース//絵 石津 ちひろ//訳 (BL出版)
引っ越しをしたけれど、前の家やいつも遊んでた公園、前の友だちが懐かしくて、あたしはぜんぜんうれしくなかった。そんなときおばあちゃんが、“ゆらゆらなじかん”を教えてくれて…。新しい世界に踏み出す力をくれる絵本。



『ぼくの名前がきえないように』 バティスト ボーリユー//文 チン レン//絵 ひがき ゆみ//訳 (ひさかたチャイルド)
ぼくはフランススコ。「自分の意見には自信をもって」と大人は言うけれど、ぼくは友だちや家族に、自分の意見を言えないときがある。そんなある日、コートかけのぼくの名前がきえはじめ…。フランスの現役医師が贈る哲学絵本。卒園する子供を祝う絵本。 [情報提供: 図書館流通センター]

2月

延岡市立図書館カレンダー

3月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2 休館日	3 こども 映写会	4 えほんのじかん	5 おはなし会	6 資料整理 休館日	7	8
9 休館日	10	11 祝日開館	12 おはなし会	13	14	15
16 休館日	17 こども 映写会	18 えほんのじかん	19 おはなし会	20	21	22
23 祝日開館	24	25 えほんのじかん	26 おはなし会	27	28	

月	火	水	木	金	土	日
						1
2 休館日	3 こども 映写会	4 えほんのじかん	5 おはなし会	6 資料整理 休館日	7	8
9 休館日	10	11 えほんのじかん	12 おはなし会	13	14	15
16 休館日	17 こども 映写会	18 えほんのじかん	19 おはなし会	20 祝日開館	21	22
23 休館日	24	25 えほんのじかん	26 おはなし会	27	28	29
30 休館日	31 春休み こども映写会					

開館時間 【火～金】 9:00～19:00 【土日祝】 9:00～17:00 ※時間外の返却は、返却ポストをご利用ください。
【えほんのじかん】 10:30～11:00 対象: 0～3才程度 場所: おはなしのへや
【おはなし会】 16:00～16:30 対象: 未就学児 場所: おはなしのへや
【こども映写会】 毎月第一・第三火曜日 15:00～15:30(約30分) 場所: おはなしのへや



図書館HP



Instagram